平均消費性向は大都市中第2位

~平成20年家計調査年報~

今号の特集では、総務省統計局が公表した平成20年家計調査年報について、福岡市の結果概要を紹介します。本編21、22ページに毎月の調査結果を掲載していますので併せてご覧下さい。

1. 家計調査とは

家計調査は学生の単身世帯を除く全国 のすべての世帯を対象として家計収支の 調査を行い、都市別、収入階級別、その ほか世帯の特性による集計結果によって、 国民生活の実態を明らかにし、国の経済 政策・社会政策の立案のための基礎資料 を得ることを目的としています。

家計調査は標本調査であり、抽出により全国168市町村から、二人以上の世帯については8,076世帯を選定し、毎月、原則として6か月間継続して調査され、毎月6分の1ずつが、順次、新たに選定された世帯と交替します。単身世帯については745世帯を選定し、原則として3か月間継続して調査され、毎月3分の1ずつが、順次、新たに選定された世帯と交替します。福岡市の二人以上の世帯の調査対象

表1 1世帯当たり1か月間の収入と支出

二人以上の世帯のうち勤労者世帯

(単位:円,%)

		福岡市	î			全 国	Ī	
項 目	平成19年 平均	20年 平均	構成比	増減率	平成19年 平均	20年 平均	構成比	増減率
集計世帯数	46	55			4 249	4 269		
世帯人員(人)	3. 49	3. 58			3. 45	3. 45		
有業人員(人)	1. 59	1.56			1.66	1.44		
世帯主の年齢(歳)	45. 7	45. 2			47.4	47. 4		
実収入	410 415	445 227	100.0	8.5	528 762	534 235	100.0	1.0
経常収入	405 231	433 664	97. 4	7.0	520 246	525 414	98.3	1.0
勤め先収入	390 678	418 304	94.0	7. 1	497 395	500 738	93.7	0.7
世帯主収入	354 950	383 470	86. 1	8.0	433 306	434 066	81.3	0.2
世帯主の配偶者の収入	30 249	28 547	6.4	$\triangle 5.6$	54 129	55 742	10.4	3.0
他の世帯員収入	5 479	6 287	1.4	14.7	9 959	10 930	2.0	9.7
事業・内職収入	1 004	2 935	0.7	192. 3	2 639	2 661	0.5	0.8
農林漁業収入	0	0	0.0	0.0	32	118	0.0	268.8
他の経常収入	13 549	12 425	2.8	$\triangle 8.3$	20 181	21 897	4.1	8.5
特別収入	5 184	11 563	2.6	123. 1	8 516	8 820	1.7	3.6
実支出	386 706	390 654	100.0	1.0	409 716	416 415	100.0	1.6
消費支出	321 938	316 527	81.0	△1.7	323 459	324 929	78.0	0.5
食料	65 279	64 502	16.5	$\triangle 1.2$	70 352	71 051	17.1	1.0
住居	25 372	27 056	6.9	6.6	20 207	19 156	4.6	$\triangle 5.2$
光熱・水道	20 112	20 467	5.2	1.8	21 555	22 666	5.4	5.2
家具・家事用品	9 296	9 681	2.5	4. 1	9 914	10 501	2.5	5.9
被服及び履物	16 546	13 482	3.5	\triangle 18.5	14 846	14 263	3.4	$\triangle 3.9$
保健医療	11 840	12 271	3.1	3.6	11 697	11 593	2.8	$\triangle 0.9$
交通・通信	52 052	45 298	11.6	$\triangle 13.0$	46 259	48 259	11.6	4.3
教育	22 483	23 192	5.9	3. 2	19 090	18 789	4.5	$\triangle 1.6$
教養娯楽	32 895	32 303	8.3	△1.8	33 166	33 390	8.0	0.7
その他の消費支出	66 063	68 275	17.5	3.3	76 372	75 260	18.1	$\triangle 1.5$
非消費支出	64 769	74 127	19.0	14. 4	86 257	91 486	22.0	6.1
可処分所得	345 646	371 100		7.4	442 504	442 749		0.1
黒字	23 709	54 573		130. 2	119 046	117 820		$\triangle 1.0$
平均消費性向(%)	93. 1	85.3			73.1	73.4		
黒字率 (%)	6. 9	14.7			26.9	26.6		
エンゲル係数 (%)	20. 3	20.4			21.7	21.9		

は92世帯、そのうち勤労者世帯は55世帯です(集計世帯数が少ないため、結果を利用する際は標本誤差を考慮に入れて下さい)。

2. 消費支出の状況

福岡市の消費支出は 316,527 円で前年 (平成 19年) に比べ 1.7%減少していま す。費目別では「食料」等 4 費目で減少 しています。「交通・通信」は 6,754 円減 と減少額では最も大きくなっています。 一方,「住宅」や「その他の消費支出」は 増加しています。構成比が大きい「食料」 の内訳を見ると,外食 13,762 円,肉類 7,366 円,野菜・海藻 7,027 円となっています。

消費の内容は地形や気候による各地の 文化の違いから大きく異なると言われて いますが、交通機関の発達や情報化の進 展により消費生活の均質化が進んでいる とも言われています。

家計調査では、調査対象者が記入した

表2 支出金額ランキング

【あじ】		【いわし】	
全国	1,649円	全国	588円
1位 長崎市	5,006円	1位 鳥取市	1,713円
2位 松江市	4,680円	2位 北九州市	1,484円
3位 山口市	3,742円	3位 長崎市	1,322円
4位 佐賀市	3,554円	4位 鹿児島市	1,232円
5位 宮崎市	3,077円	5位 松江市	1,216円
6位 北九州市	2,972円	6位 大分市	1,182円
7位 福岡市	2,831円	7位 金沢市	1,071円
8位 大分市	2,809円	8位 福岡市	1,032円
9位 金沢市	2,736円	9位 山口市	981円
10位 富山市	2,587円	10位 宮崎市	941円
【鶏肉】		【焼ちゅう】	
<u>【鶏肉】</u> 全国	12,830円	<u>【焼ちゅう】</u> 全国	7,400円
	12,830円 18,520円		7,400円 14,018円
全国		全国	
全国 1位 京都市	18,520円	全国 1位 宮崎市	14,018円
全国 1位 京都市 2位 福岡市	18,520円 18,166円	全国 1位 宮崎市 2位 北九州市	14,018円 12,077円
全国 1位 京都市 2位 福岡市 3位 大分市	18,520円 18,166円 17,673円 17,447円	全国 1位 宮崎市 2位 北九州市 3位 鹿児島市	14,018円 12,077円 11,535円
全国 1位 京都市 2位 福岡市 3位 大分市 4位 大津市	18,520円 18,166円 17,673円 17,447円 16,377円	全国 1位 宮崎市 2位 北九州市 3位 鹿児島市 4位 秋田市	14,018円 12,077円 11,535円 10,752円
全国 1位 京都市 2位 福岡市 3位 大分市 4位 大津市 5位 和歌山市	18,520円 18,166円 17,673円 17,447円 16,377円 16,071円	全国 1位 宮崎市 2位 北九州市 3位 鹿児島市 4位 秋田市 5位 大分市	14,018円 12,077円 11,535円 10,752円 10,724円
全国 1位 京都市 2位 福岡市 3位 大分市 4位 大津市 5位 和歌山市 6位 鹿児島市	18,520円 18,166円 17,673円 17,447円 16,377円 16,071円	全国 1位 宮崎市 2位 北九州市 3位 鹿児島市 4位 秋田市 5位 大分市 6位 広島市	14,018円 12,077円 11,535円 10,752円 10,724円 10,125円
全国 1位 京都市 2位 福岡市 3位 大分市 4位 大津市 5位 和歌山市 6位 鹿児島市 7位 北九州市	18,520円 18,166円 17,673円 17,447円 16,377円 16,071円 16,011円	全国 1位 常 2 2 2 2 2 4 3 4 4 5 5 4 4 5 5 4 4 5 5 4 5 4 5 5 4 5 5 4 5 5 4 5 5 5 4 5 5 5 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	14,018円 12,077円 11,535円 10,752円 10,724円 10,125円 9,788円
全国 1位 京都市 2位 福岡市 3位 大分市 4位 大津市 5位 和歌山市 6位 鹿児島市 7位 北九州市 8位 山口市	18,520円 18,166円 17,673円 17,447円 16,377円 16,071円 16,011円 15,894円	全国 1位 北九州市 2位 北九州市 3位 北虎 田市 4位 秋 大 広市 6位 松 六 広 松 熊 7位 8 位 熊本市	14,018円 12,077円 11,535円 10,752円 10,724円 10,125円 9,788円 9,735円

12位 福岡市

8,026円

家計簿の品目を約500品目に分類・集計しており、ここでは都道府県庁所在市別(川崎市、浜松市、堺市、北九州市を含む)の品目別データから福岡市を始め九州・沖縄の各都市の特徴を見ていきます。

「食料」の品目への支出額では,福岡 市は鶏肉、たらこが第2位となっていま す。九州・沖縄の各都市で第1位になっ ている品目は、北九州市はたらこ、さば、 佐賀市は干しのり、たい、ようかん、ご ぼう, れんこん, チョコレート菓子等, 長崎市はカステラ,あじ、ミネラルウォ ーター等,大分市はスナック菓子,熊本 市は他の生鮮肉,干ししいたけ等,宮崎 市は煮干し,焼ちゅう,鹿児島市は砂糖, まんじゅう、揚げかまぼこ、那覇市はか つお節・削り節、レタス、にんじん、た まねぎ, ハンバーガー等となっています。 第1位になっている品目には各地の特産 品が見受けられます。あじ、いわし、鶏 肉, 焼ちゅう等は九州・沖縄の都市が上 位を占めています。(表2)

3. 勤労者世帯の収支

福岡市の二人以上の世帯のうち勤労者 世帯(世帯主が会社,官公庁,学校,工 場,商店などに勤めている世帯。世帯主 が社長,取締役,理事など会社団体の役 員である世帯は含まない。)について見て いきます。

勤労者世帯の1か月の実収入は445,227円と前年に比べ8.5%増加しています。そのうち世帯主収入は383,470円で前年に比べ8.0%増加し、実収入の86.1%を占めています。

一方, 実支出は390,654円と前年に比べ 1.0%増加しています。そのうち消費支出 は316,527円で前年に比べ1.7%減少し, 実支出の81.0%を占めています。非消費 支出(税金や社会保険料など)は74,127 円で14.4%増加しています。

可処分所得(実収入から非消費支出を 差し引いた額)は371,100円で前年に比べ 7.4%増加しています。平均消費性向(可 処分所得に対する消費支出の割合)は 85.3%と前年に比べ7.8ポイント下落しています。エンゲル係数 (消費支出に占める食料費の割合) は20.4%と前年並みとなっています。

実収入と実支出の差である黒字は54,573円と前年に比べ130.2%増加し,黒字率(可処分所得に対する黒字の割合)は14.7%と前年に比べ7.8ポイント上昇しています。なお,平均消費性向と黒字率は表裏一体の関係にあります。

本調査においては、全国と比べ福岡市は実収入、実支出ともに全国を下回っています。また、世帯主の配偶者の収入の構成比が、福岡市は6.4%であるのに対し、全国では10.4%と高くなっています。平均消費性向は全国を上回っていますが、エンゲル係数は全国を下回っており、消費支出の内容から福岡市民は「住居」や「教育」への消費活動が活発な傾向があると言えます。(表1、図1・2)

4. 大都市の状況

19 大都市(政令指定都市及び東京都区部)の収支状況を見ると,実収入は横浜市が 651,399 円で最も多く,以下,さいたま市 611,708 円,川崎市 608,372 円と首都圏の都市が上位を占めています。総じて東日本の都市が西日本の都市より実収入が多い傾向にあります。

一方, 実支出は横浜市が 469,555 円で 最も多く,以下,さいたま市 466,462 円, 浜松市 456,101 円と続いています。実支 出は実収入に見合う形になっています。

黒字は横浜市が181,844円で最も多く, 以下,川崎市155,871円,さいたま市 145,246円と実収入の多い都市が続いて います。福岡市の54,573円は仙台市の 53,023円に次いで少なくなっています。

平均消費性向は黒字の少ない仙台市が85.7%で最も高く,次いで福岡市が85.3%となっています。黒字の多い横浜市は65.2%で最も低く,次いで川崎市が69.0%となっています。エンゲル係数は京都市が25.4%と最も高く,福岡市は20.4%と最も低くなっています。(表3)

総務省統計局ホームページ http://www.stat.go.jp

図2 平均消費性向の推移

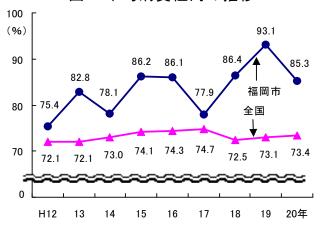


図1 家計収支の状況 (二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

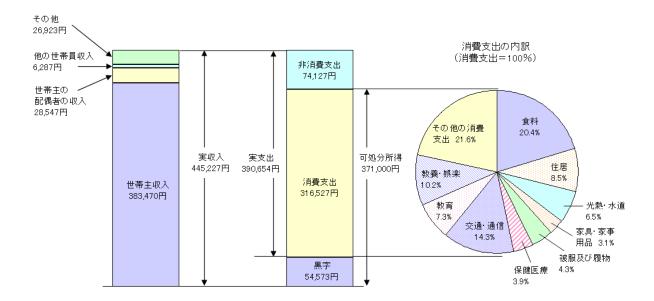


表3 都市別1世帯当たり1か月間の収入と支出(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)